

## コツブキンエノコロ (小粒金犬ころ)

名前の意味<sup>いみ</sup>：実が小さいキンエノコロの意味。金は、毛の色が黄色いから。エノコログサの意味は、これで子犬をじゃらしたから。

分類：単子葉類、イネ科、エノコログサ属

(イネ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴<sup>なな</sup>：斜めに立ち上がる<sup>た</sup>茎、紫がかった黄色いの毛虫のような穂<sup>ほ</sup>

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁<sup>りべん</sup> (花びらが1枚ずつ<sup>ち</sup>散る)

花の時期：7—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：エノコログサとは、穂が紫<sup>ほ</sup>がかった黄色で粒<sup>むらさき</sup>が白っぽい<sup>つぶ</sup>緑色であることで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)